

建築計画概要



外観イメージ

1. 基本設計の方針

(仮称) 歴史と未来の交流館は、新施設のテーマ「歴史と未来の交流」を実現する為、「歴史博物館ゾーン」、「子ども未来館ゾーン」、「交流・共有ゾーン」、「屋外広場ゾーン」の4つのゾーンで構成し、各ゾーンの機能や連携した活動に配慮した計画とします。

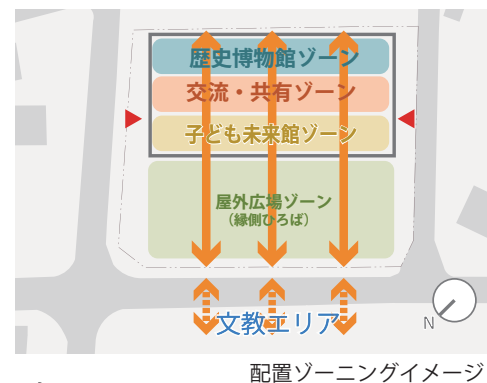
ゾーン	① 歴史博物館ゾーン	② 子ども未来館ゾーン	③ 交流・共有ゾーン	④ 屋外広場ゾーン
主な諸室	基本展示室・特別展示室 調査研究室・収蔵庫	多目的室・団体活動室	エントランス・交流活動スペース	屋外広場
イメージ図				
活動イメージ	村の風土・歴史を展示	体験学習の場	交流展示・創作活動の作品展示	屋外ワークショップ

2. 建築のコンセプト

4つのゾーンの連携、さらには文教エリア、とうかいまると博物館※へと活動を繋げる為、コンパクトで明快な下記3つのコンセプトに則った配置とします。

- 01 文教エリアに大きく開いた建物配置
- 02 ヨコの帯状のゾーニングをタテの活動でつなぐ
- 03 歴史と未来が交流する交流活動スペース

※とうかいまると博物館…「東海村全域を建物のない博物館」として捉える考え方

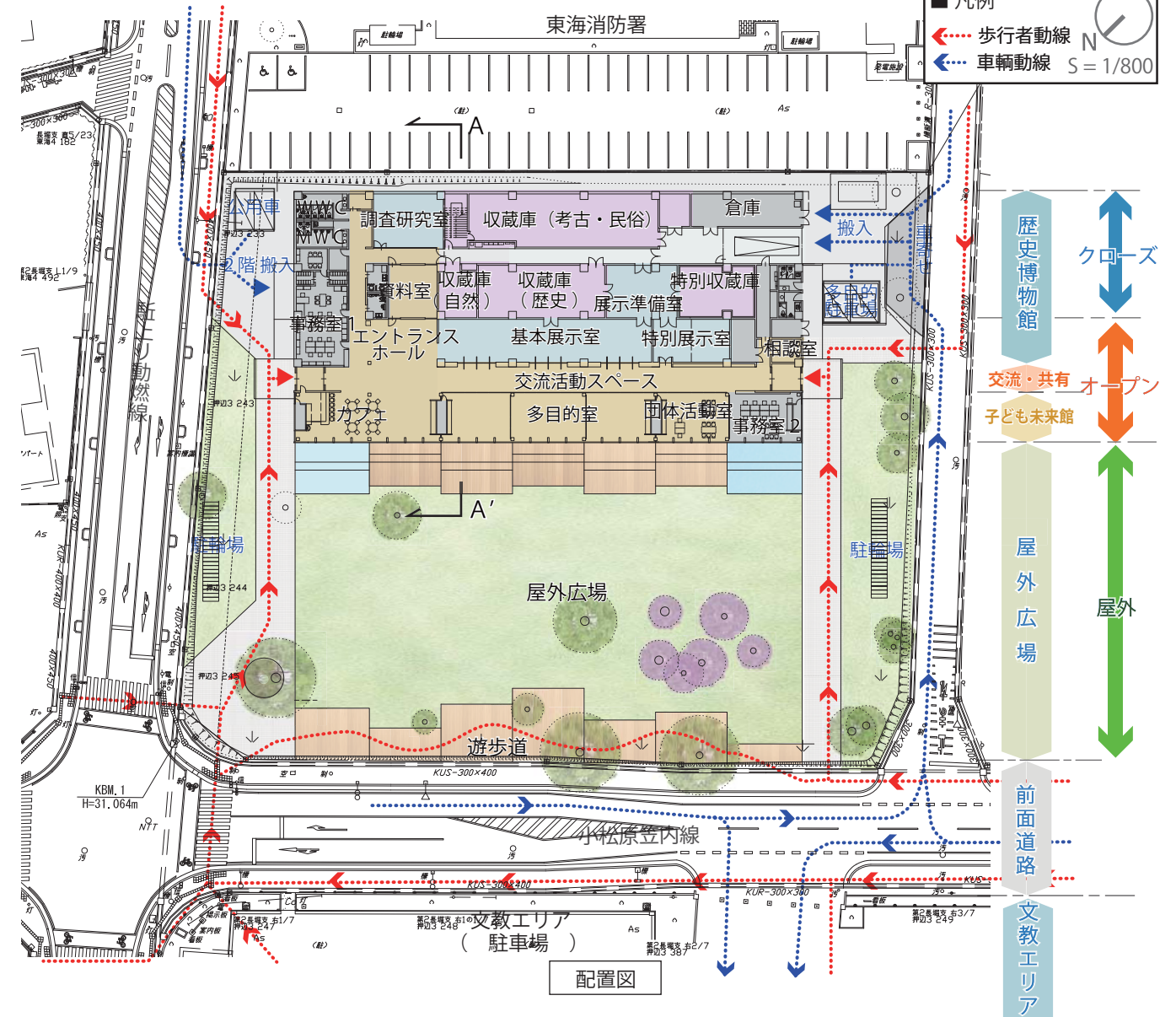


配置ゾーニングイメージ

3. 計画概要

- ・所在地 : 茨城県那珂郡東海村大字村松字藤ヶ作 768 番 38
- ・敷地面積 : 6,669 m²
- ・都市計画等 : 市街化調整区域
- ・前面道路 : 北側：16m、西側：16m、南側：5m
- ・構造 : RC造 一部 S造
- ・階数 : 地上 2階
- ・最高高さ : 10.5m
- ・建築面積 : 2180.0 m²
- ・延床面積 : 2364.0 m²

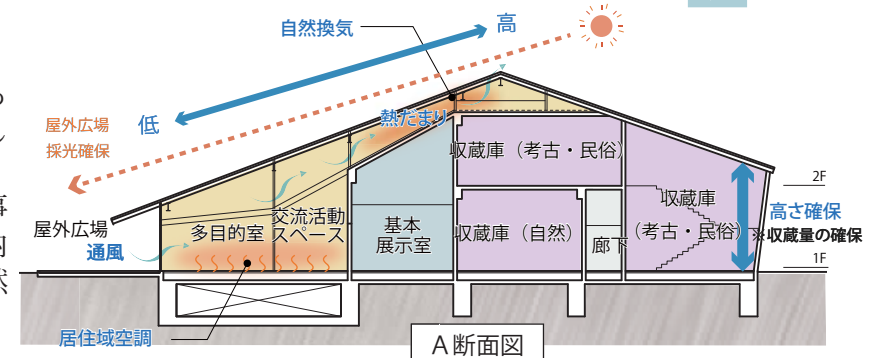
4. 配置計画



配置図

5. 断面・環境計画

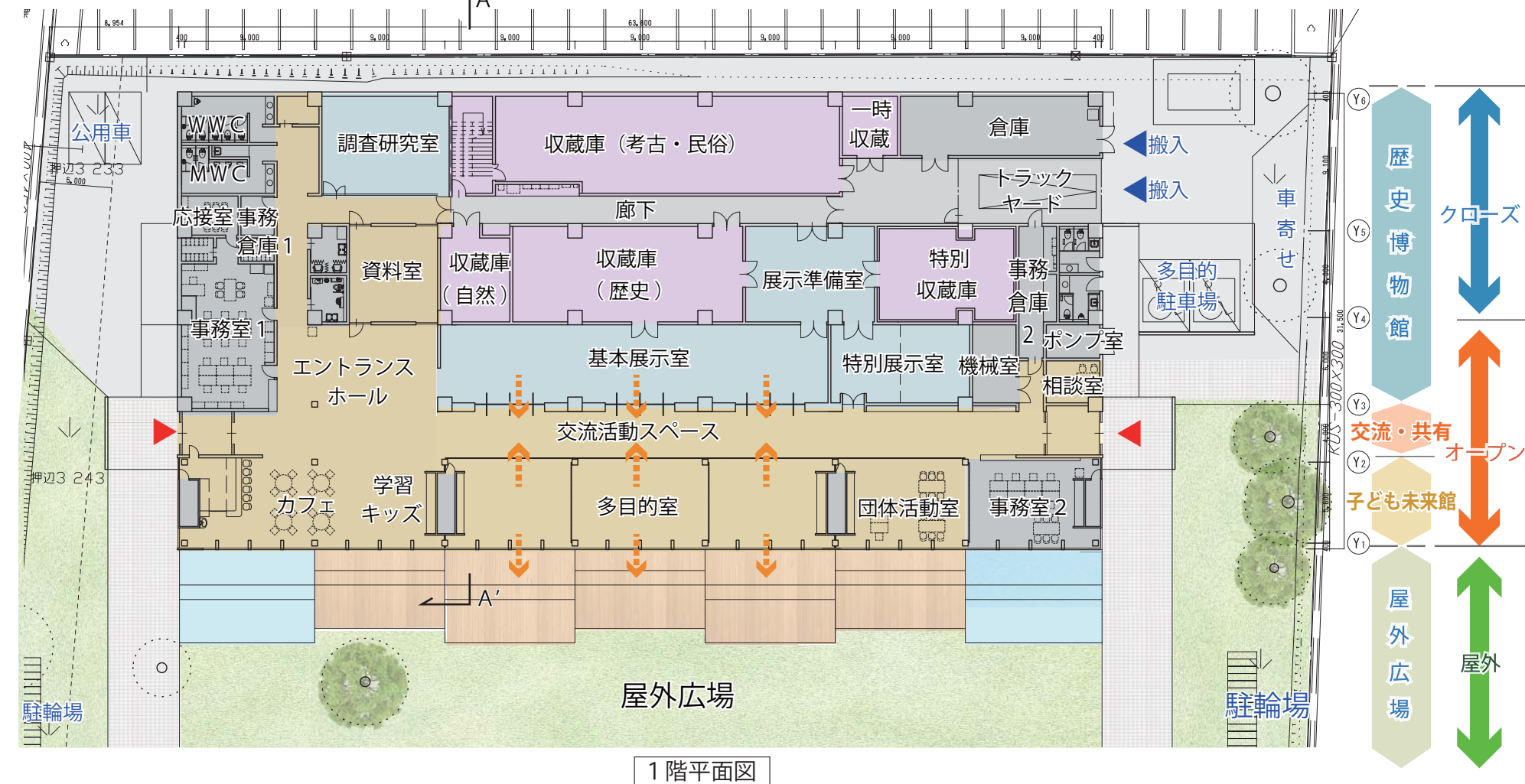
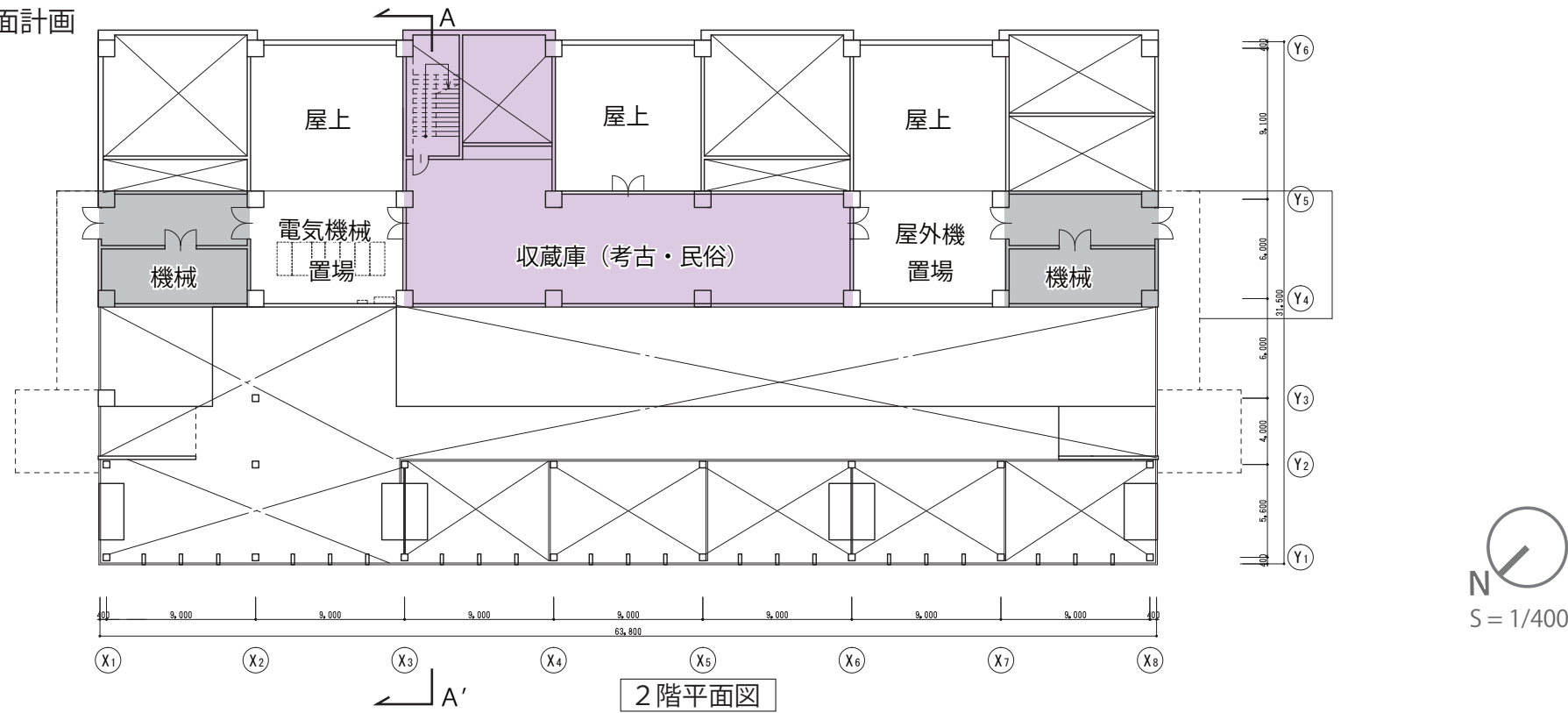
- ・屋外広場側の屋根を勾配屋根とすることで、屋外広場への採光を確保します。
- ・屋根の高さをスパンごとに変える事で、ハイサイドライトを設け、室内に自然採光を確保すると共に、自然換気を可能な計画とします。



A断面図

建築計画概要

6. 平面計画



7. 諸室概要

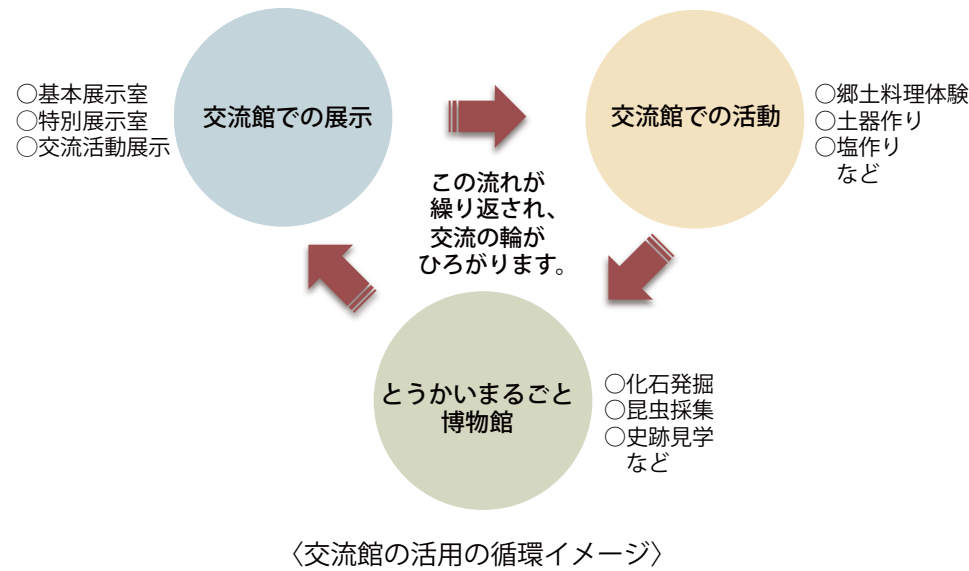
区分	室名	室機能	
① 歴史博物館ゾーン	展示	基本展示室	村の歴史や自然の核となる展示
		特別展示室	村の歴史や自然を様々な角度から展示
		展示準備室	展示準備作業、撮影
		資料室	村史編纂資料、報告書、図書閲覧
		調査研究室	発掘調査整理作業、村の歴史、自然調査研究
	収蔵	収蔵庫 (自然)	自然標本 (温湿度管理)
		収蔵庫 (歴史)	古文書、指定文化財等 (温湿度管理)
		特別収蔵庫	古文書、美術品等 (温湿度管理)
		収蔵庫 (考古・民俗)	発掘調査遺物、民具 (換気機能)
		荷解	搬入品の積み下ろし等
一時収蔵		搬入品の一時収蔵スペース	
搬入室	4t美術専用車		
② 子ども未来館ゾーン	子どもエリア	サポーター室	運営ボランティア控室
		相談室	各種相談
		多目的室	各団体の事業、事前準備、講座、研修活動室、会議室等
	青少年団体	事務室2	青少年担当職員事務室
		団体活動室	青少年育成関係団体活動室、会議室
		倉庫	団体活動用の倉庫
		事務倉庫2	事務倉庫
③ 交流・共有ゾーン	エントランス	団体レクチャー、作品展示、グッズ販売、情報発信等	
	学習・カフェ・キッズスペース	図書閲覧、飲食コーナー、子供の遊び場	
	交流活動スペース	交流活動、作品展示	
④ 管理諸室	事務室1	文化財、芸術文化、スポーツ振興担当職員事務室	
	応接室	来客対応、打合せ	
	事務倉庫1	事務倉庫	
	機械室		
	更衣室	職員用の更衣室	
	HWC・WC		
	授乳室	授乳スペース (2セット)、おむつ替えスペース有り	
⑤ 屋外広場ゾーン	屋外広場	屋外ワークショップ、イベント等	

展示計画概要

1. 展示のコンセプト

建築設計における施設のコンセプトを踏襲し、「歴史博物館ゾーン」「交流・共有ゾーン」「子ども未来館ゾーン」「屋外広場ゾーン」の4つのゾーンを活動を通してつなぎ、多世代・他地域交流を生み、まちへとつながっていく展示とします。

また、大人から子どもまでが楽しみながら学べ、「とうかいまるごと博物館」につながる展示とします。多くの人に興味・関心をもって学べるように、ゲーミフィケーション方式などをとり入れ、リピーターを確保できる展示とします。



2. 展示方針

・基本展示室の方針

- ① 風土・歴史を体感で伝える展示とします。
- ② 交流を生む展示とします。
- ③ 新たな情報を受発信できる展示とします。

・特別展示室の方針

- ① 資料保存に考慮した展示室とします。
- ② 様々なテーマに対応できるフレキシブルな空間にします。

・交流活動展示の方針

- ① 多世代、他地域の交流を生む展示とします。
- ② 誰もが気軽に利用でき、かつ郷土に興味を湧かせる展示とします。

・「とうかいまるごと博物館」の方針

- ① 「とうかいまるごと博物館」は、「(仮称) 歴史と未来の交流館」を拠点とし、村内全域に活動を展開します。
- ② 「とうかいまるごと博物館」は、村内の文化的景観や自然景観、史跡や天然記念物そのものをサテライトとして展示します。

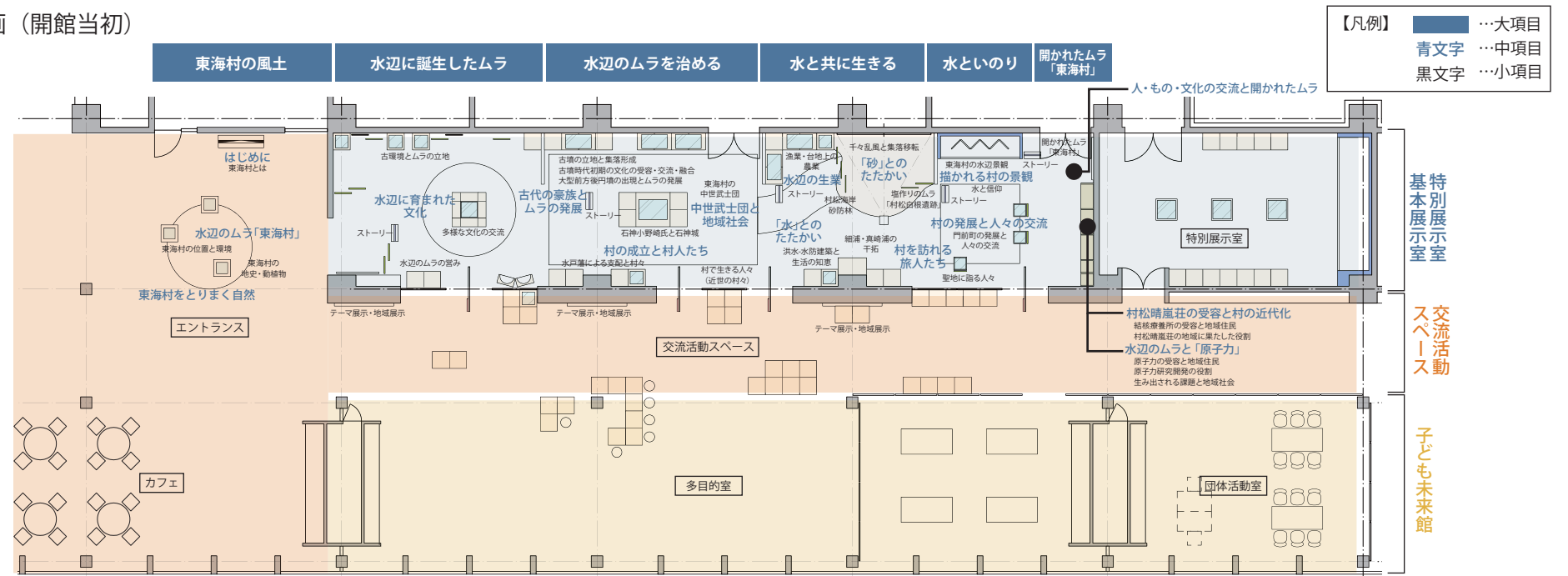
3. 平面計画

展示構成表に基づき、当平面計画では開館当初の配置を示します。基本展示室は交流活動スペース側の壁を開閉可能な扉とし、様々な展示更新に対応可能なしくみとなっています。例えば右図のように扉を開け、交流活動スペースからの動線を確保した形状で資料を配置することも可能です。イベントなどの開催日は、全屏をオープンにして開放的に使用することが可能なほか、全屏を閉じて使用することもできます。

また、展示室の動線は自由動線とし、来館者の興味・関心に合わせてどこからでも見る事ができます。

特別展示室は資料保存に考慮した展示室とし、様々なテーマに対応できるフレキシブルな空間にします。

■ 平面計画 (開館当初)



■ 展示活動イメージ

東海村パズル (エントランス)	土器パズル (交流活動展示)	地図に隠れた東海村の動植物 (交流活動展示)	テーマ展示・地域展示 (交流活動展示)	ICTを使い、展示と「とうかいまるごと博物館」をつなげるしくみ (基本展示室)
<p>東海村の地図を活用した大型パズルです。ワークショップ等で東海村の風土や歴史、地理を学びます。 ※床面の「東海村地図」を活用。</p>	<p>土器パズルは村で出土した土器を型取りして作成します。磁石で土台に土器ピースを取り付けていくことで、楽しみながら土器の形などを学びます。</p>	<p>化石や動植物標本などを収納し、展示や活動に応じて活用するワゴンです。</p>	<p>各地域の歴史を展示します。</p>	<p>ICTを活用し、村内全域を博物館に見立て、クイズや宝さがしを行うしくみをつくります。 基本展示室内でクイズや宝さがしのヒントを得て外へ。お宝や解答をICTで得て、また館内へ来ると新たなステージのミッションへと進むことができます。また、交流館の展示と村内の文化的景観や史跡などをつなげていきます。</p>

交流館での活動例

◆ゾーンごとの活動例

<p>歴史博物館ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東海村の歴史や自然を学ぶ ○村の歴史や自然について調査・研究する 	
<p>交流・共有ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報交換・交流の場 ○遊びながら郷土を学ぶ ○地域の歴史やイベント情報がわかる ○活動の成果発表の場 	
<p>子ども未来館ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な講座や体験、イベントを企画・開催できる (例) ・歴史講座 ・土器づくり ・サイエンス教室 ・研修活動、創作活動 	
<p>屋外広場ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○屋外を利用して様々な体験ができる (例) ・塩作りや野外炊飯体験 ・秘密基地づくり ・アウトドア体験 	
<p>とうかいまると博物館 (現地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流館を拠点に、東海村全域を屋根の無い博物館と捉えて活動を展開する (例) ・古墳巡り ・石神城探検 ・久慈川のサケ漁見学会 	

◆交流館から「とうかいまると博物館」へとつながる活動の展開例

